

ゆめが丘新聞

発行所
老健ゆめが丘
広報誌
令和5年度
7月1日

☆ゆめが丘の取り組み☆

早くも7月に入り、汗ばむ季節となりました。新型コロナウイルスが5類となり、マスクの着用が個人の判断へ見直しされ、私たちの生活も少しずつ緩和はじめてきました。

老健ゆめが丘でも、ご利用者の面会も陰圧ブースでの対面会でしたが、ようやく、フロア内面会が再開となります。施設内での感染対策は、引き続き行っていきますので、ご利用者様・ご家族様につきましては、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。



☆6月 利用者様作品 & 施設菜園始めました☆



紫陽花

トマト

ナス



バジル



2階（一般棟）

2階（一般棟）での取り組みとしては日々、利用者様に楽しんで頂きたく、体操等のレクリエーションを行なったりしています。夕食前に、利用者様と一緒に口腔ケア体操（パタカラ体操）をしています。声に出す事はもちろん、食欲増進や、食べ物が入るのを防ぐといった効果があり、嚥下防止として普段から、口の運動をすることが大切です。機能訓練のリハビリではご利用者様一人一人の身体機能・動作能力等に合わせた個別プログラムを作成し訓練を実施しています。利用者様が日々怪我無く安心 安全で過ごして頂くように職員が一体となって見守っていきたくと考えております。

えんげたいそう 嚥下体操



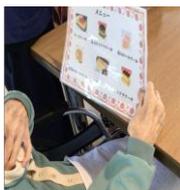
3階（認知症専門棟）

色とりどりの紫陽花に、梅雨の訪れを感じる季節となりました。

ゆめが丘の紫陽花もとても綺麗に咲き、利用者様と散歩がてら紫陽花を見に行き、皆様とても喜んでいました。

フロアレクでは体操を行ったり歌を歌ったり紙芝居を見たりと楽しく過ごされています。

月一回行っている喫茶の日には、コーヒーとケーキが出ます。その時は利用者様と職員と一緒にコーヒーを飲んだり楽しくお喋りして過ごしています。夏になったら、季節のデザートが増えるのでこれから楽しみです。



デイケア便り

日を追うごとに夏らしくなり、空の青がひととき眩しい季節になってきました。

もうすぐ七夕ですね。デイケアでも毎年短冊に願いを書いて頂いています。今年は何を願う事にするのでしょうか。願いが叶うといいですね。

私共、老健ゆめが丘デイケアでは、パワーリハビリテーション（機械）を使ったものや、歩行訓練なども精力的にこなされる利用者様が多く見受けられます。継続した運動による、体力保持や筋力維持を支援すると共に、活気のある雰囲気の中、笑顔で楽しく過ごして頂きたいと考えています。パワーリハビリテーションは、マシントレーニングを軽負荷で行い、使っていない筋力を動かします。老化や障害により低下した身体的・心理的活動を回復させ、自立性の向上とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の高い生活への復帰を目指すリハビリテーション

の新しい手法です。「老化に対するリハビリテーション」といえます。当施設でも専任のリハビリ担当が利用者様お一人一人に合ったプログラムメニューを考案させて頂き運動習慣を身につけ、自立した生活が維持出来るように支援させて頂きます。

デイケアの楽しみの一つといえばお食事ですが、当施設デイケアでは栄養面を考慮するのはもちろんのことですが、お食事を楽しむにしたいだけのように、季節ごとの行事食や旬の食材を積極的に取り入れた季節感のある食事の提供を心掛けています。

食事のレクリエーションとしては、四月に利用者様と職員で桜餅を作りました。甘酒と一緒に、桜を見ながら召し上がっていただき、大変喜ばれていました。七月には竹で作った流しそうめんを企画しています。デイケアの日々のレクリエーションでは脳トレ（脳を活性化させる



トレニング）や体操、ゲームを取り入れていきます。人と接する機会がなくなると、脳の機能が低下していきます。挑戦する事、失敗する事、出来ないことも楽しむ。やった事のない新しいことをすることで、脳神経細胞は何歳であっても、新しく生まれるそうです。

認知心理学から身体と心の関係を学んでいくと、人は楽しいから笑うのではなく、笑うと楽しくなるそうです。皆様との日々のレクリエーションやパワーリハビリ等を通じて、私もスタッフ一同はご利用者の皆様が形成している世界を理解し大切にしたいと思っています。「リハビリ」「レク活動」から「安らぎやふれあいを感ずる」コミュニケーションとなるように、利用者様に寄り添っていききたいと考えております。



医療法人徳洲会

介護老人保健施設 ゆめが丘

〒245-0016

神奈川県横浜市泉区和泉町 1202

電話番号 045-800-1717

FAX番号 045-800-1716

施設見学・ご相談等受付しております。